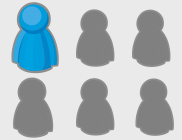




# 糖尿病の方が増え続けています

20 歳以上の 6 人に一人は、  
糖尿病または糖尿病予備群



全国で「糖尿病が強く疑われる人」は約 740 万人、「糖尿病の可能性を否定できない人」は約 880 万人。(厚生労働省・2002 年統計) 患者数は年々増加しており、20 歳以上の 6 人に一人は糖尿病、もしくは糖尿病予備群とされています。

今回のヤッ芳では、当院の糖尿病に対する診療・教育・指導体制についてご紹介します。

世界的に糖尿病患者が増加する中、国際連合(国連)では、2006 年に 11 月 14 日を「世界糖尿病デー」に指定し、世界各地で糖尿病の予防、治療、療養を喚起する啓発運動を推進することを呼びかけています。

## 糖尿病に対する院内体制

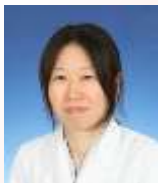


### 糖尿病専門医

糖尿病は、内分泌代謝内科の担当領域です。能美市内の糖尿病専門医(常勤医)は、2 名のみです。



白倉 幹哉  
(常勤医師)



若山 綾子  
(常勤医師)



### 糖尿病認定看護師

糖尿病看護のスペシャリストである「糖尿病看護認定看護師」。東看護師長は 2007 年に認定を受け、糖尿病看護について精力的な啓発活動を行っています。



糖尿病認定看護師  
東 康子



### 糖尿病療養指導士

「糖尿病療養指導士」は、糖尿病についての幅広い知識を持つ、糖尿病の専門家です。当院では、看護師・保健師・薬剤師・理学療法士・管理栄養士などがこの資格を持っており、糖尿病の療養指導を行っています。

→「糖尿病療養指導士」はこのバッジを付けています



### 生活習慣病センター

「生活習慣病センター」では、看護師・管理栄養士が、糖尿病の療養指導を行っています。また毎週月・火・水・金曜日には「糖尿病教室」を開催し、医師・看護師・管理栄養士らが専門分野からのアドバイスをしています。



←当院オリジナルパンフレット「糖尿病のしおり」



### 健診センター

健診センターには保健師がおり、健診結果から一人ひとりに合った保健指導を行っています。

また、「特定健診」では、糖尿病等の生活習慣病を 25% 減らそうというもので、当健診センターでも指導に取り組んでいます。



### ひゃくじゅかい 百寿会 (糖尿病患者の会)

当院には、糖尿病患者の会「百寿会」があります。イベントや情報交換、親睦を深める日帰り旅行などの活動を行っています。



## 健診などで「糖尿病予備群」といわれたら。

放っておかずに、生活習慣の改善を。

いったん糖尿病になってしまうと、一生治療を続けなくてはなりません。そのため、「糖尿病予備群」のうちに生活習慣を改善することが重要です。

では、生活習慣を改善し、「糖尿病予備群」から抜け出すにはどうしたらよいのでしょうか。生活習慣の改善に向けて目標を設定し、何をすればよいのかを知り、やる気を持って行動に移すことが大切です。…そんなとき、当院の「生活習慣病センター」が力になります。



### 芳珠記念病院 生活習慣病センター

内科外来奥

糖尿病療養指導士である看護師と管理栄養士が常駐し、生活習慣改善のアドバイスをを行います。また、糖尿病の合併症から起こる、足のトラブル解消のためのフットケアも行っています。どうぞお気軽にご相談ください。

★「内科」での受付が必要です。

★予約の方は、事前に下記までお電話をお願いします。

担当：生活習慣病センター

☎0761-51-5551(代)